

## 令和5年度第2回三泗地域医療構想調整会議 議事概要

- 1 日時：令和5年10月31日（火）19：30～20：40
- 2 場所：三重県四日市庁舎 6階 大会議室
- 3 出席者：山中委員（議長）、渡邊副会長（中嶋委員代理）、片岡委員、田中委員、平岡委員、石井委員、新保委員、金城委員、住田委員、村嶋委員、小嶋委員、伊世委員、諸岡委員、溝口委員、小野委員、渡部委員、黒田委員、栗田委員、水谷委員

### 4 議題

#### 1 病床関係について

- (1) 病床機能の現状について（資料1-1）
- (2) 2025年に向けた具体的対応方針について（資料1-2）
- (3) 各公立病院の経営強化プラン概要について（資料1-3）

#### 2 在宅関係について

- (1) 医療計画及び介護保険事業（支援）計画の整合性の確保について（資料2-1）
- (2) 積極的な役割を担う医療機関の位置づけについて（資料2-2）

#### 3 外来関係について

- (1) 外来医療計画の策定について（資料3-1）
- (2) 医療機器の共同利用計画書について（資料3-2）
- (3) 紹介受診重点医療機関について（資料3-3）

### 5 内容

#### 1 病床関係について

- (1) 病床機能の現状について（資料1-1）
- (2) 2025年に向けた具体的対応方針について（資料1-2）
- (3) 各公立病院の経営強化プラン概要について（資料1-3）

#### <事務局から説明>

- 医療機関からの病床機能報告と今年度実施したアンケート調査をもとに、県の定量的基準をあてはめた機能別病床数のデータを更新したため、報告する。
- 2025年に向けて各医療機関の具体的対応方針を確認する。病床数の議論ではなく、あくまでも各医療機関の役割等に重きを置いて議論する。2040年を見据えたアンケート調査結果についても共有する。
- 公立病院経営強化プランについて、医療機関に作成いただいた概要を説明する。

#### <主な質疑等>

- 大規模災害時において、歯科領域の活躍に期待している。
- 病院をオーラルケアセンターにできないかと、これまで工夫してきたが、本部からの設置許可も出たため、再来年の春をめどに病院にオーラルケアセンターを設置する予定。

## 2 在宅関係について

(1) 医療計画及び介護保険事業（支援）計画の整合性の確保について（資料2-1）

(2) 積極的な役割を担う医療機関の位置づけについて（資料2-2）

<事務局より説明>

- 地域医療構想に伴い療養病床から生じる追加的需要について、在宅医療や介護サービスにおいて対応する部分の考え方や各保険者の対応について説明する。
- 在宅医療において積極的な役割を担う医療機関の医療計画への掲載方法や今後の調査方法について説明する。

<主な質疑等>

- 近い将来、高齢者の救急医療を急性期病棟でなく、地ケア病棟で管理する方向で国は動いているようだが、県として何か情報はあるか。  
⇒ 現時点で何も情報はないが、サブアキュートの機能が必要になるという方向性はおそらく国ももっている。県においても引き続き、必要な情報収集に努める。
- そうなれば地ケア病棟の充実化も必要となる。急な方向転換はできないので、県に情報が入ったら早めに教えてほしい。  
⇒ 2040年に向けた地域医療構想の議論がおそらく今後国でも進む予定。国がどういった方針で検討しているか情報収集し、調整会議の場等でも共有させていただく。
- 住民が医療にどのように関わるかといった意識がこれから非常に大事。どのような医療を受けたいかということを確認することで、高度急性期、急性期がより整理できると考える。四日市市内で行われている人生会議も力を入れてアピールしていきたい。本日参加いただいている委員の皆様にもいろんな場で人生会議に取り組んでいただくことで、無駄な医療、無駄な死を防ぎ、入院・在宅がもう少しクリアになると思う。
- 三泗地区は幸いにも、国が計算しているニーズは余裕をもってクリアできている状況。現在クリアしている状態であっても、今後2040年に向かって人材を維持できるかは課題であり、医師会としても後継者をどんどん育て、かつ病院との連携も重視していきたい。  
⇒ ACPについて、県としてもしっかりと必要性をアピールしていきたい。

## 3 外来関係について

(1) 外来医療計画の策定について（資料3-1）

(2) 医療機器の共同利用計画書について（資料3-2）

(3) 紹介受診重点医療機関について（資料3-3）

<事務局から説明>

- 今年度に策定予定の第8次（前期）外来医療計画の計画案について、地域の間においても情報を共有し、意見を求める。
- 令和4年度に購入された医療機器に関する共同利用計画書について、医療機関の共同利用の意向の有無等について情報共有する。

- 第1回地域医療構想調整会議で決定した紹介受診重点医療機関について、県内の当該医療機関の状況を報告する。

<主な質疑等>

- 三重県の場合、診療所の数が増えていないようだが、外来医師偏在指標に基づいた外来医師多数区域が新たに北勢や中勢伊賀にも該当することについて、どのように理解したらよいか。
  - ⇒ ご指摘のとおり診療所の医師が充足しているわけではない。外来医師多数区域に該当すれば、ガイドライン上は、足りない機能を担っていただけるかどうかを確認することになっているが、県としては今回新しく外来医師多数区域に該当となった北勢、中勢伊賀地域も外来医師偏在指標が全国平均より低いため、確認を不要とする方向性を各地域で提案している。国に基づく機械的な数字は、あくまで参考とし、三重県の事情に応じた外来医療計画を策定していく。
- 夜間休日等における初期救急医療提供体制の見直しに関して、救急をとる医療機関を増やしていくイメージか。
  - ⇒ 不足しているのは「初期救急」であり、救急医療情報センターなどで案内できる、応需可能な医療機関などをもう少し増やしていく必要があると考えており、救急医療部会の意見も参考にしつつ、外来医療計画に反映させたい。

以上